



## 4年生がカタツムリの生息について学習したよ！（生物多様性の学習）

7月8日（月）、徳島大学の先生と阿南工業高等専門学校研究員の先生をゲストティーチャーとしてお招きし、生物多様性の学習を4年生が行いました。この日は、4年生が、実際に加茂谷地区のカタツムリの生息する場所（若杉山周辺）にフィールドワークに出かけました。

フィールドワークに出かける前に、先生からは、「いろいろな種類のカタツムリやカタツムリの生態」についてのお話をして頂きました。

次に「カタツムリについてのクイズ」をしました。

クイズの内容は、「①カタツムリはどんな生きものの仲間ですか。」「答え：貝の仲間です。」「②カタツムリのカラは取り外すことができますか。」「答え：できません。カタツムリとナメクジは似ているけれど、別の生きものです。」「③カタツムリは、うんちをしますか。」「答え：うんちをします。」「④カタツムリは、どこからうんちをしますか。」「答え：カラの入口からします。」「⑤「カタツムリは、生まれたときはどんな様子ですか。」「答え：たまごです。」このように、カタツムリの様子をいくつかのクイズ形式で答えていきながら、カタツムリの様子について学ぶことができました。4年生の子どもたちは、カタツムリの様子についてよく知っていました。

また、「阿南の加茂谷地区だけでも80種以上のカタツムリがいること」や、「加茂谷は石灰岩（サンゴ礁由来）が多い地形だからカタツムリがたくさんいること」についてもしっかりと答えることができました。

その後、2人の先生と加茂谷へんろ道の会長と、その他数名の方々と一緒に若杉山周辺のフィールドワークに出かけました。子どもたちは、加茂谷にしか生息しないカタツムリを探したり、他のカタツムリを実際に観察したりすることが出来ました。

<2人の先生からのお話を聞いている様子と

実際に見つけたカタツムリです。名前は、4年生に聞いてください。>



※4年生の子どもたちにとっては、加茂谷地域の  
豊かな環境を生かした『自然体験学習』となり  
ました。

